

起業支援ファンド
「One Capital 2号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（起業支援ファンド）において、One Capital 有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として30億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『One Capital 2号投資事業有限責任組合』は、さらなる成長が見込まれるSaaS領域のスタートアップに対して投資し、日本発のSaaSスタートアップを育成することにより、SaaSツールを通じて企業の生産性向上を後押しし、日本全体のデジタル化推進に寄与することを目指すファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

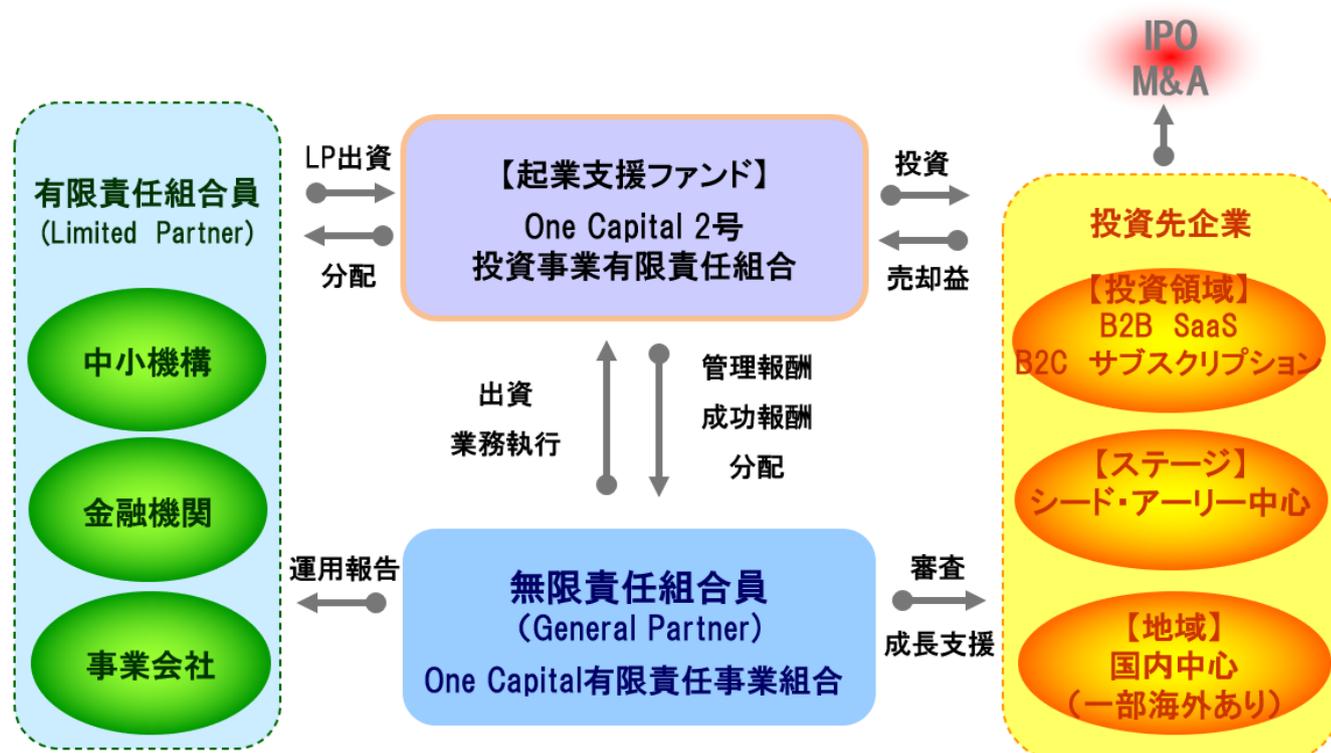
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：松野、岡）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「One Capital 2号投資事業有限責任組合」の概要

- 「One Capital 2号投資事業有限責任組合」は、One Capital 有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資ファンドです。
- 運営事業体であるOne Capital 有限責任事業組合は、パートナーである浅田 慎二氏、坂倉 亘氏を中心に構成されています。国内の投資家のみならず、日本のSaaSスタートアップに関心を持つ海外の投資家からも広く成長資金を呼び込むとともに、投資後は、独自開発したスタートアップ支援SaaSの提供やハンズオン支援等を通じて、投資先の支援に注力しています。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

起業支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_01.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf